

マーケットの動き（2025年10月20日～10月24日）

先週の米国国債市場は、前週末比でほぼ横ばいでした。
週前半は米中貿易摩擦への懸念などから米国長期金利は低下しました。その後、23日は原油価格の上昇によるインフレ懸念などを背景に金利は上昇しましたが、24日発表の9月の米国CPI（消費者物価指数）が市場予想を下回ったことなどを受け、FRB（米国連邦準備制度理事会）の利下げ観測が高まり、金利は再び低下に転じました。
欧州国債市場は、英国金利が低下した一方、ドイツ金利は上昇しました。

投資環境見通し（2025年10月）

長期金利は、米国、欧州（ドイツ）ともに緩やかに低下

米国：関税政策の影響からインフレ懸念が高まる可能性はありますが、雇用市場の減速を背景にFRB（米国連邦準備制度理事会）の利下げ姿勢がより鮮明となる中、長期金利は緩やかに低下するとみています。

欧州：ECB（欧州中央銀行）は政策金利のさらなる引き下げに対して様子見姿勢を維持していますが、域内の景気やインフレ率の下振れや為替動向を注視しつつ、追加利下げの可能性は残るとみています。ドイツ長期金利は米国長期金利に連れて緩やかに低下するとみています。

	10月24日	変動幅（騰落率）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
10年国債利回り（米国、%） （変動幅）	3.99	▲0.01	▲0.15	▲0.31	▲0.21
FTSE世界国債インデックス 除く日本、円ベース（騰落率）	648.03	1.41%	3.43%	10.74%	6.98%

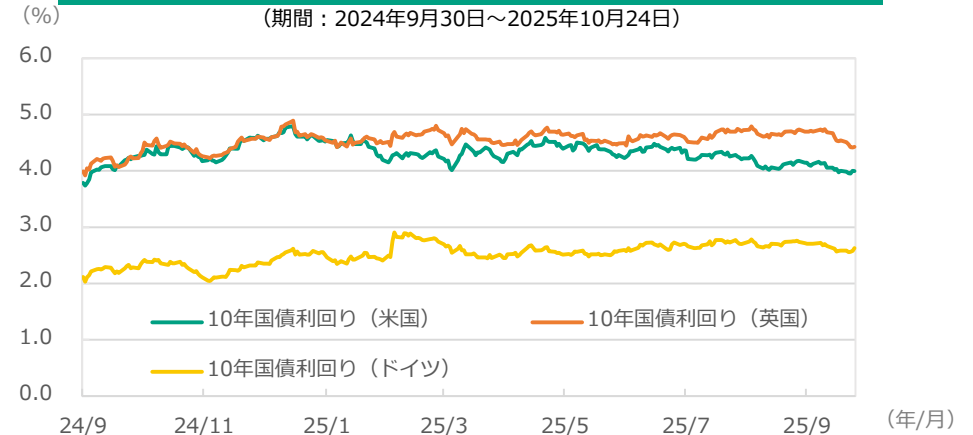
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202510_outlook.pdf

主要国国債利回りの推移

（期間：2024年9月30日～2025年10月24日）



FTSE世界国債インデックスの推移

（期間：2024年9月30日～2025年10月24日）



※2024年9月30日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>